



## 経営ワンポイント情報「不易流行」

by 目加田博史

### 暗雲の向こう

2012年12月26日の安倍内閣の発足とともに打ち出されたアベノミクスも早くも6年目に入っています。最大のテーマである「デフレ脱却」はなかなか成果をあげていません。消費者物価の下落をデフレと言い、上昇をインフレと言います。アベノミクスの本来の目的は消費者物価を2%上昇させ、結果としてGDPを3%成長させることです。その手段として、1\$=70円台の超円高を円安に誘導し、輸出企業の業績を改善して、社員・株主への分配を増やして、消費を活性化するシナリオでした。異次元の黒田バズーカや異常なマイナス金利等は企業業績を大幅に改善したことは明らかです。最高益の記録更新企業が続出したことからこれは証明されています。実際に、財務省が毎年発表している全産業の損益計算書及び貸借対照表をみると、従来は7兆円程度だった内部留保が、安倍政権発足以降、毎年20兆円以上に拡大しています。しかし、企業の好業績が消費拡大につながったかという点、これは「NO」です。アベノミクスの成果は企業の内部留保に向かっているだけなので、国民に回っていません。

それもあってか、政府が上場企業・大企業を中心とした経済界に、場合によっては法律を作っても賃上げを要請する動きになり、財界も受け入れざるを得ない状況です。構造改革による生産性向上が確実でない限り企業は賃上げには動きません。今、賃金が上がっている要因は、人手不足で採用ができないことが原因で、政府の要請による成果とは思えません。人手不足が解消されれば、また賃金も落ち着きます。

日本で、実感を伴った経済成長や所得向上を成し遂げたのは、池田内閣の所得倍増計画と田中内閣の列島改造論の時です。いずれも、莫大なインフラ開発が行われ、建設業が成長し、さらに建設業に建機や資材を提供する製造業が成長し、これらにかかわるあらゆる産業界に波及効果があり、暮らしが良くなる、将来に希望が持てる実感がありました。それが、統計的経済成

長と実感がかい離し出したのは、ドルショックに端を発した為替の自由化以降だと思います。

アベノミクスに希望が持てず、国会は文書偽造や虚偽答弁の真相究明に明け暮れ、うんざりする状態が続いています。暗雲がたれこめだしています。将来不安、政治不信で、社会が不安定化しています。

日本の会社の99.7%を占め、労働者の72%を占める中小企業経営者の出番です。中小企業経営者が、矜持をもってしっかりすれば、社会は安定化に向かいます。ヒト・モノ・カネともに大企業に引けを取りませんが、心意気だけは負けないのが中小企業経営者です。

過労死寸前まで働かせて利益をため込むだけの企業ではなく、社員に夢と希望を語り、人材を育成し、利益を社会に還流させる経営をしなければなりません。お金と生活の物々交換の場ではなく、人生を創造する、生きがいを伸ばす、豊かな場にしなければ、将来に対する不安は払しょくできません。社員を守り育てるために、お客様目線に立ち、お客様の暮らしを改善するモノ・サービスを開発しなければなりません。何でもかんでも手がけるのではなく、もっとも独創的で強みを発揮できる分野を磨きに磨いて磨き倒すことです。お客様から感謝の言葉をかけられると誇りに思い、やりがいを感じます。大手企業とも対等に戦えます。広く浅く総合力とカネに物を言わせて広告や物量で空中戦を展開できる大企業と互角に戦うには、重点地域に集中し、有力なお客様の顔が見える信頼関係を築き、得意分野の商品で、ライバルと一騎打ちすることです。利益が1億円になるまではがむしゃらに、愚直に、働き、1億円を超えれば、成果配分、設備投資、環境改善、ブランド構築、地域社会への貢献に回せばよいのです。

暗雲の向こうには輝く太陽があります。垂れ込めている暗雲をふきはらうべく、中小企業的心意気を示そうではありませんか。日本の99.7%を占める中小企業だからこそできることです。今の豊かさを追求するのは勿論大事ですが、新潟・長岡藩の小林虎三郎の「米百俵精神」のごとく、子孫100年を考えた行動が必要な時です

## 株式会社目加田経営事務所

<http://21cmc.jp>

那覇 〒900-0014  
那覇市松尾1-18-22 8階  
TEL098-864-0331  
FAX098-860-3416  
Email: mec@mekata.co.jp

京都 〒603-8478  
京都市北区大宮釈迦谷4-10  
TEL075-334-5105  
FAX075-493-8305

好きなもの「えがお」  
得意ワザ「見える化」技術  
嫌いなもの「現状維持」

2日間の「マルミエ診断」受付中！！  
お電話ください。 098-864-0331